

**「Office 365 with KDDI:Exchange Online」
ユーザー初期設定ガイド**

改訂履歴

版数	発行日	改訂概要
Ver.1.0	2016/2/18	初版発行

内容

1. 概要	4
2. 全体作業フローについて	7
3. 「Office 365 with KDDI:Exchange Online」へのログイン	8
4. メール移行について	9
5. Windows Live メールのインストール	10
6. 「KDDI ビジネスメール」サーバへの接続設定	15
7. 「Office 365 with KDDI:Exchange Online」サーバへの接続設定	23
8. 「KDDI ビジネスメール」から「Office 365 with KDDI:Exchange Online」へデータを移行 31	
9. 個人アドレス帳の移行について	36
10. 「KDDI ビジネスメール」の個人アドレス帳をエクスポート	37
11. アドレス帳変換ツールのインストールおよび CSV 形式への変換	40
12. 「Office 365 with KDDI:Exchange Online」へ個人アドレス帳データをインポート	44

1. 概要

このドキュメントは「Office 365 with KDDI:Exchange Online」のログイン方法や既存の「KDDI ビジネスメール」からのメッセージ・連絡先の移行方法について記載したユーザー初期設定ガイドです。

「Office 365 with KDDI:Exchange Online」の IMAP ツールによるメッセージ一括移行を行う場合は、メール移行手順書(管理者)をご参照ください。

なおメッセージの移行については、Windows Live メールを利用した手順で記載しておりますが、IMAP 対応のメールクライアントソフトにも対応しております。

※マニュアル上の画面については以下環境にて記載・作成しております。

ご利用の環境により画面が異なる場合がございますのでご了承ください。

OS

・ Windows7

ブラウザ

・ Internet Explorer 11

<前提条件> :

ブラウザの利用条件は以下を参照ください。

Microsoft Edge	「Office 365 with KDDI:Exchange Online」は、最新バージョンの Microsoft Edge ブラウザで動作します。Microsoft Edge ブラウザの更新プログラムは、Windows サービング ブランチを通じて入手できます。「Office 365 with KDDI:Exchange Online」は、以前のバージョンの Edge ブラウザでもひきつづきお使いいただけますが、動作は保証されません。
Internet Explorer	「Office 365 with KDDI:Exchange Online」は、最新バージョンまたは 1 つ前のバージョンの Internet Explorer で動作します。Internet Explorer の最新バージョンがリリースされた際に、アップグレードすることをおすすめします。「Office 365 with KDDI:Exchange Online」は、Internet Explorer の最新バージョンがリリースされてから一定期間は最新バージョンまたは 1 つ前のバージョン以外の Internet Explorer でもひきつづきお使いいただけますが、動作は保証されません。

※Safari、Chrome、Firefox は最新バージョンのみサポートします。

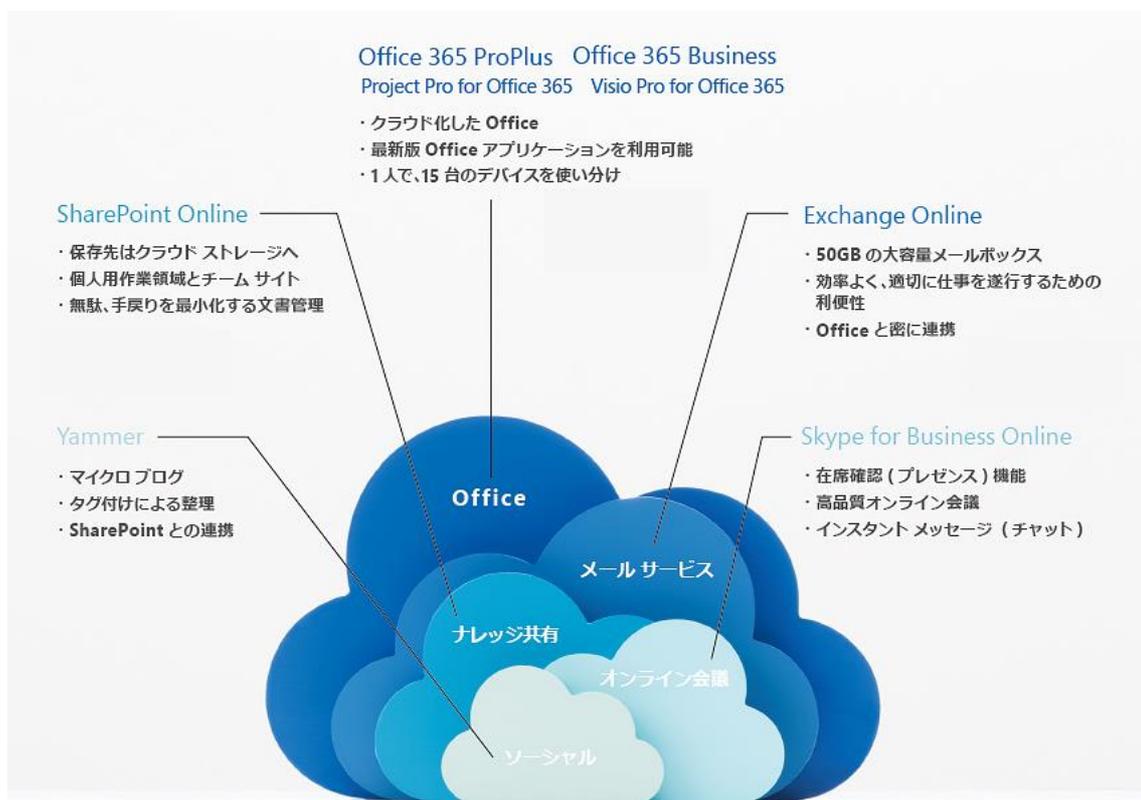
古いバージョンのブラウザやメインストリーム サポートの対象ではない、Office バージョンを使用している場合は、以下の点に注意してください。

- ・ ユーザーがサービスに接続するのを Microsoft が意図的に阻止することはありませんが、「Office 365 with KDDI:Exchange Online」のパフォーマンスは徐々に低下します。
- ・ Microsoft は、セキュリティ以外の問題を解決する修正プログラムを提供しません。

<注意事項>

- ・現在 POP のメールクライアントをご利用中のユーザーは移行できません。
- ・本ドキュメントに記載の設定画面および表示形式については、
Microsoft 社のアップデートにより、予告無く変更になる場合がございます。
- ・事前に Windows Update の実行を行なうことを推奨致します。
最新の更新情報が適用できていない場合には手順が正常に完了しない場合がございます。

新しい「Office 365 with KDDI」を使えば、電子メール、予定、オンライン会議、最新の Office ドキュメントに、事実上どこからでも、パソコン、タブレット、スマートフォンなどのさまざまなデバイスから安全にアクセスできます。定期的にデータの自動バックアップが行われるクラウド サービスにドキュメントを保管しておくことができます。また、クラウド サービス上でメールをスパムやウイルスから保護するための高精度な除去機能を提供します。



□ 「Office 365 with KDDI:Exchange Online」

50GB メールボックス、予定表/仕事共有、施設予約などの機能が利用可能です。

「Office 365 with KDDI:Exchange Online」は、世界で最も広く利用されているメールサーバーである Exchange の機能を、個人事業者や小規模企業でも容易に利用できるとともに大規模企業向けにも十分な能力があるホスティング サービスとして提供します。

常に最新状態に維持された強力なアンチ スпам/マルウェア サービス、さらに、ポリシー ベースの情報保護機能により、メールとデータを保護できる機能を備えています。

2. 全体作業フローについて

「KDDI ビジネスメール」から「Office 365 with KDDI:Exchange Online」へ移行するためには、以下の流れで Office365 の設定作業を実施してください。各項目の手順については、次項より記載しておりますのでご参照ください。

「Office 365 with KDDI:Exchange Online」

の ID とパスワードを受領

「Office 365 with KDDI:Exchange Online」に登録された ID（メールアドレス）とパスワードを管理者より受領してから作業を開始してください。

「Office 365 with KDDI:Exchange Online」

へログイン

管理者より受領した ID（メールアドレス）とパスワードにより「Office 365 with KDDI:Exchange Online」にログインします。

メールデータの移行

Windows Live メールなどにより、「KDDI ビジネスメール」用と「Office 365 with KDDI:Exchange Online」用のアカウントを作成し、フォルダー間でデータを移行します。

個人アドレス帳の移行

「KDDI ビジネスメール」のアドレス帳からエクスポートしたデータを、「Office 365 with KDDI:Exchange Online」のアドレス帳にインポートします。

利用開始

3. 「Office 365 with KDDI:Exchange Online」へのログイン

「Office 365 with KDDI:Exchange Online」にログインを行います。

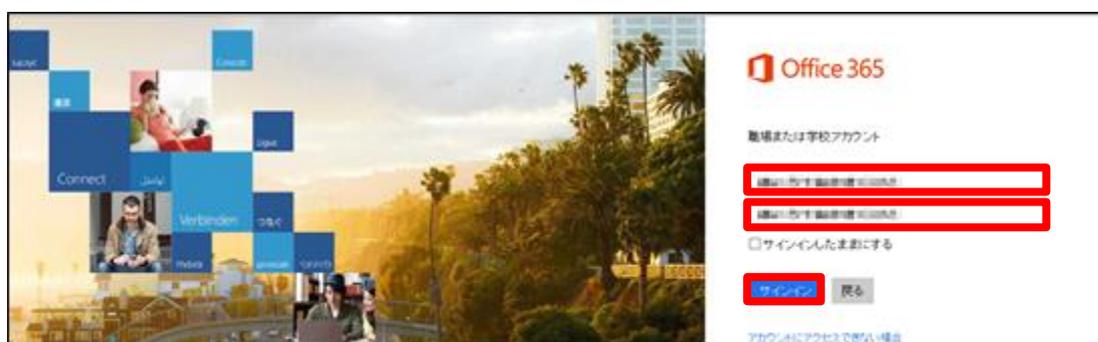
管理者によりユーザー(メールアドレス)登録が完了し、パスワードを受領してからログインを行ってください。

※ユーザー未登録の場合は、メール移行手順書(管理者)の8ページを参照し、登録を行ってください。

Internet Explorerにて以下 URL へアクセスし、下記画面が表示されましたら

「Office 365 with KDDI:Exchange Online」のログインユーザーアカウントとパスワードを入力して[サインイン]をクリックします。

<URL: <https://portal.microsoftonline.com>>



ログイン ID	「Office 365 with KDDI:Exchange Online」のログインアカウント ※ドメイン名 (@以降) を含むメールアドレス
パスワード	管理者より別途連絡

※パスワードのポリシーは以下の通りとなります。

- ・ユーザーのアカウント名に含まれる文字列は使用しない。
- ・長さは 8 文字以上 16 文字以下にする。
- ・次の 4 つのカテゴリのうち、3 つのカテゴリを入れること。
 - ① 英大文字 (A ~ Z)
 - ② 英小文字 (a ~ z)
 - ③ 10 進数の数字 (0 ~ 9)
 - ④ アルファベット以外の文字 (!, \$, #, % など)

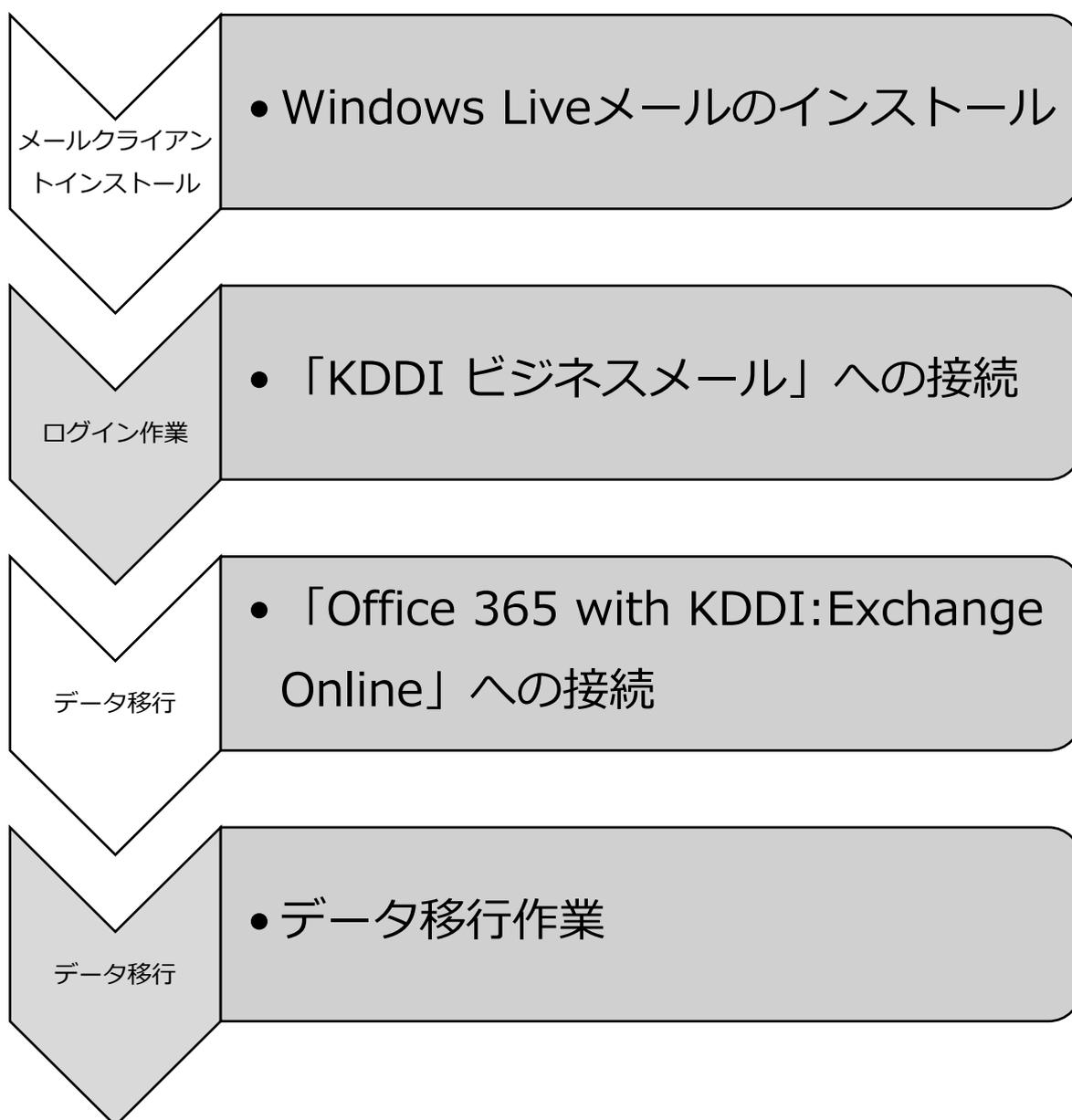
4. メール移行について

「KDDI ビジネスメール」のメールデータを移行するために Windows Live メール（Windows Essentials）を利用してメッセージを移行します。

Windows Live メールをご利用いただけない場合は、IMAP に対応したクライアントソフトを利用し、同様な流れでメールの移行を行ってください。

所要時間	2 時間程度
------	--------

※既存メールのデータ量や通信環境によって、所要時間が長くなる場合があります。



5. Windows Live メールのインストール

Windows Live メール（Windows Essentials）をインストールします。

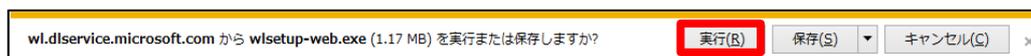
※現在 Windows Live メールをご利用の場合は不要

- 1) Internet Explorer にて以下 URL へアクセスし下記画面にて
[今すぐダウンロード]をクリックします。

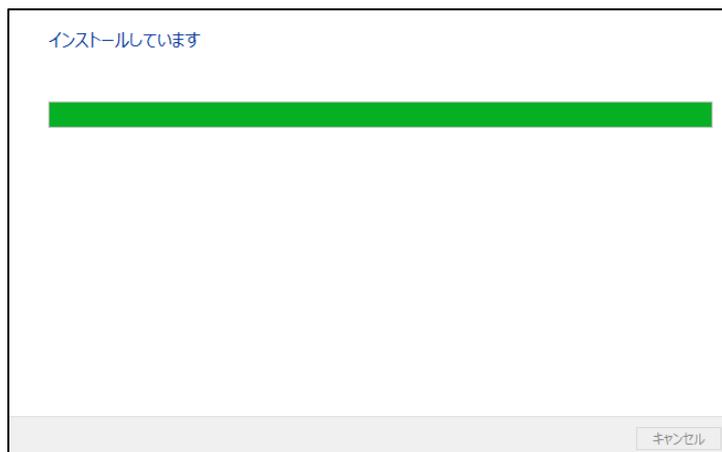
<URL: <http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows/essentials>>



- 2) ウィンドウの下部に以下の画面が表示されたら[実行]をクリックします。



必要機能のインストールが実行されます。

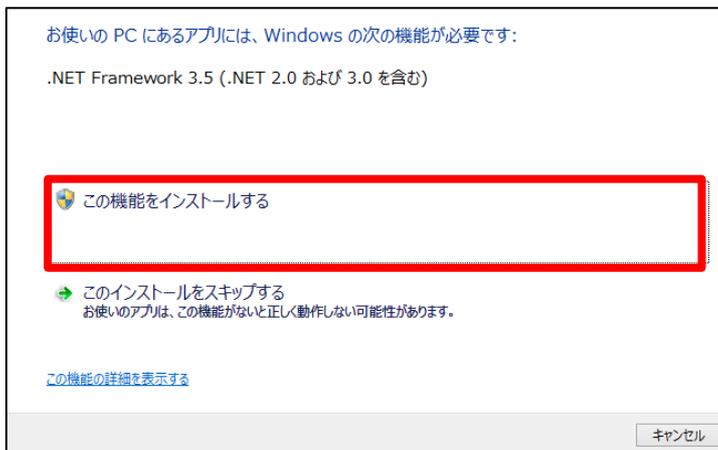


パソコン環境によって、インストール前に以下の画面が表示される場合があります。

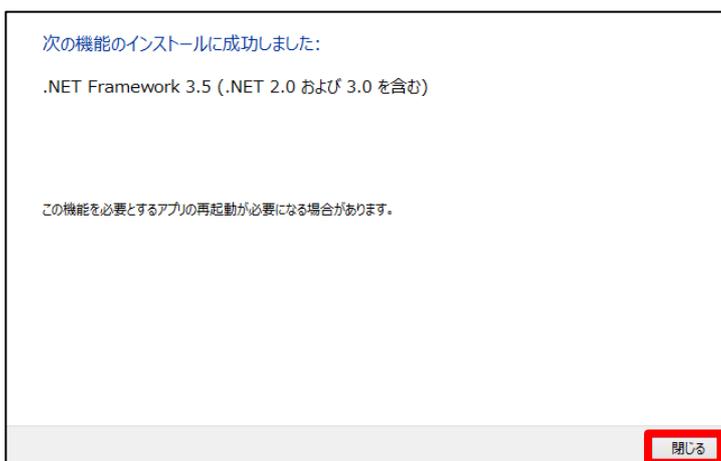
※この画面が表示された場合は[はい]をクリックします。



※この画面が表示された場合は[この機能をインストールする]をクリックします。



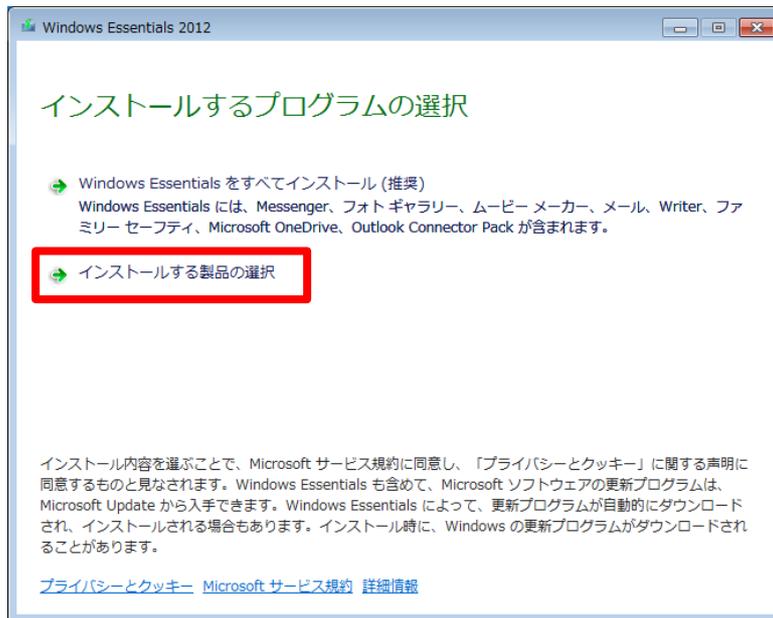
3) [閉じる]をクリックします。



4) インストールが実行されると、以下の画面が表示されます。



5) 以下の画面が表示されたら[インストールする製品の選択]をクリックします。

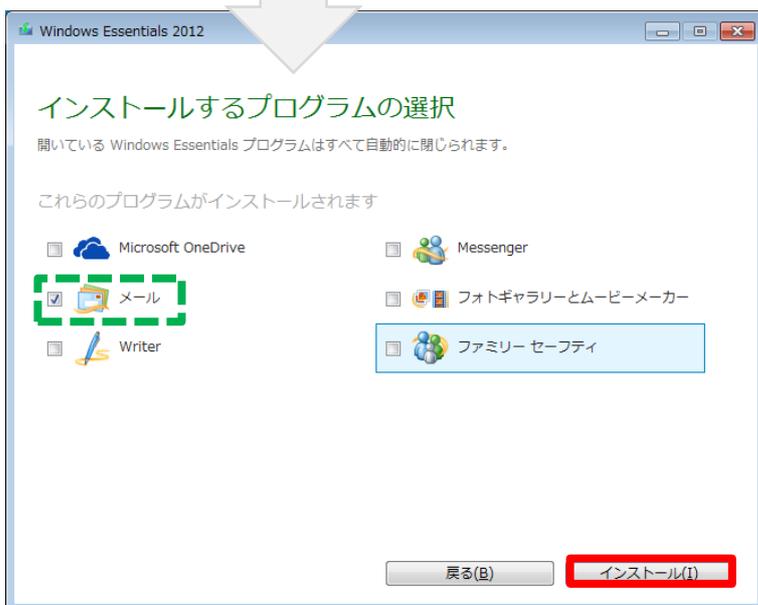
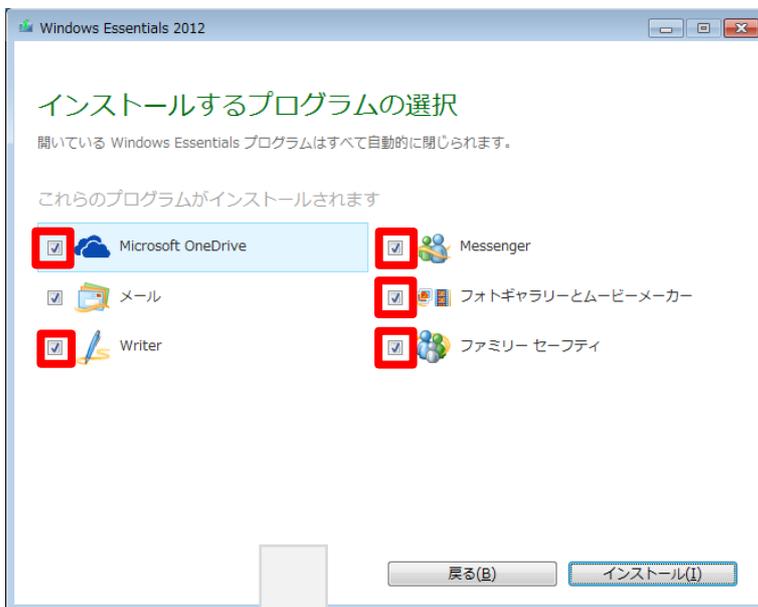


6) [メール]のみを利用しますので、その他のプログラムはチェックを外します。

選択が完了したら、[インストール]をクリックします。

Microsoft Onedrive	<input type="checkbox"/> チェックを外します。
Messenger	<input type="checkbox"/> チェックを外します。
メール	<input checked="" type="checkbox"/> チェックします。
フォトギャラリーとムービーメーカー	<input type="checkbox"/> チェックを外します。
Writer	<input type="checkbox"/> チェックを外します。
ファミリーセーフティ	<input type="checkbox"/> チェックを外します。

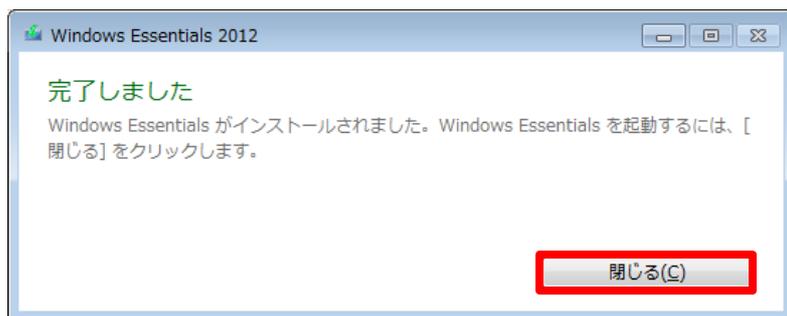
※既にインストールされているプログラムは、表示されない場合があります。



7) Windows Live メールへのインストールが自動的に開始します。



以下の画面が表示されたら[閉じる]をクリックします。



6. 「KDDI ビジネスメール」サーバへの接続設定

Windows Live メールを利用して、「KDDI ビジネスメール」へ接続するための設定を行います。

- 1) [スタートメニュー]→[すべてのプログラム]→[Windows Live メール]をクリックし
以下の画面が表示されたら、内容をご確認いただき[承諾]をクリックします。



- ※Windows Liveメールの起動時に以下の画面が表示された場合は、
チェックマークを外して、[いいえ]をクリックしてください。



2) メールアカウントの登録画面で、下記項目を入力し[次へ]をクリックします。

電子メールアドレス	自分のメールアドレス
パスワード	「KDDI ビジネスメール」のログインパスワード
表示名	※入力任意
手動でサーバー設定を構成する	<input type="checkbox"/> チェックします。

Windows Live メール

自分の電子メール アカウントを追加する

Windows Live ID をお持ちの場合はここでサインインしてください。
[Windows Live にサインイン](#)

電子メール アドレス:
someone@example.com
新しく Windows Live メール アドレスを作成する方はこちら

パスワード:

パスワードを保存する(B)

表示名:
例: Taro Chofu

手動でサーバー設定を構成する(C)

Windows Live メール ではほとんどの電子メール アカウントをお使いになれます。たとえば
Hotmail
Gmail
などが利用可能です。

キャンセル 次へ

3) 「KDDI ビジネスメール」のサーバ接続情報を、下記の通りに入力し[次へ]をクリックします。

■受信サーバー情報

サーバーの種類	IMAP
サーバーのアドレス	imap01.kbmail.jp または imap02.kbmail.jp ※「KDDI ビジネスメール」開通通知を参照ください。
サーバーのポート	993
セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要	<input checked="" type="checkbox"/> チェックします。
次を使用して認証する	クリアテキスト
ログオンユーザー名	自分のメールアドレス

■送信サーバー情報

	インターネット接続時	「KDDI WVS」などのイントラ接続時
サーバーのアドレス	smtp01.kbmail.jp または smtp02.kbmail.jp ※「KDDI ビジネスメール」の開通通知を参照ください	
サーバーのポート	465	587
セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要	<input checked="" type="checkbox"/> チェックします。	<input type="checkbox"/> チェックを外します。
認証が必要	<input checked="" type="checkbox"/> チェックします。	

Windows Live メール

サーバー設定を構成

電子メール サーバーの設定がわからない場合は、ISP またはネットワーク管理者に連絡してください。

受信サーバー情報	送信サーバー情報
サーバーの種類: IMAP	サーバーのアドレス: [redacted]
サーバーのアドレス: [redacted]	ポート: 587
ポート: 993	<input checked="" type="checkbox"/> セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要 (R)
<input checked="" type="checkbox"/> セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要 (R)	<input checked="" type="checkbox"/> 認証が必要 (A)
次を使用して認証する: クリアテキスト	
ログイン ユーザー名: [redacted]	

キャンセル 戻る **次へ**

4) 以下の画面が表示されましたら[完了]をクリックします。

Windows Live メール

電子メール アカウントが追加されました

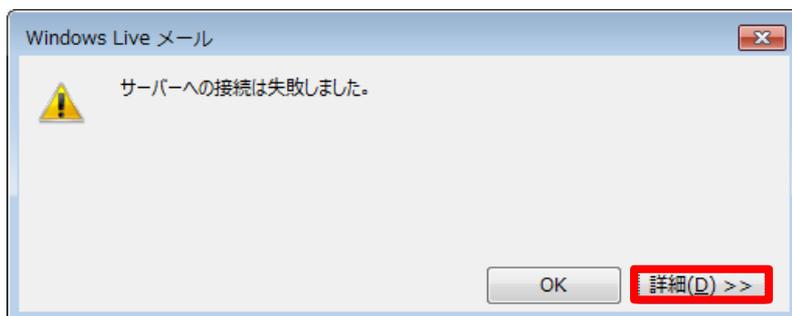
✓ [redacted] が追加されました

[別の電子メール アカウントを追加する](#)

完了(E)

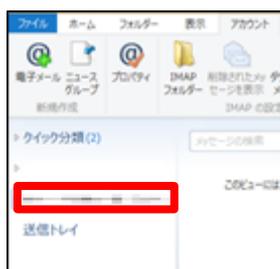
<参考：接続エラーが表示された場合>

[詳細]をクリックしてエラー内容を確認し、サーバ接続情報に誤りがないか確認してください。



<接続情報の修正を行う>

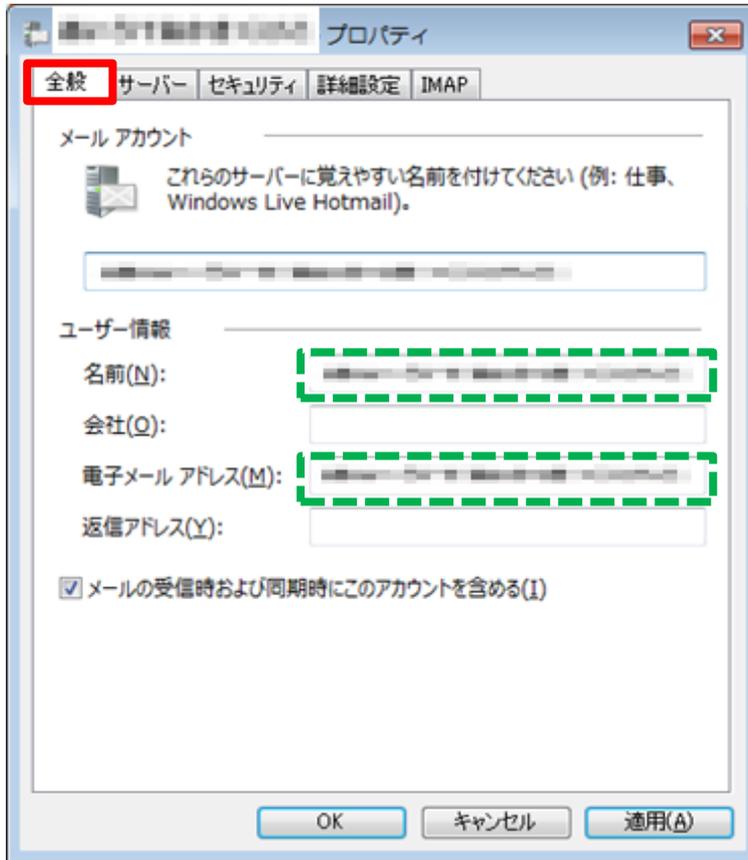
Windows Live メール画面の左メニューにある、作成したメールアカウントをクリック後、メニュー[アカウント]-[プロパティ]をクリックします。



1) 全般タブの内容を確認・修正してください。

名前	自分のメールアドレス or 表示名(入力した場合)
電子メールアドレス	自分のメールアドレス

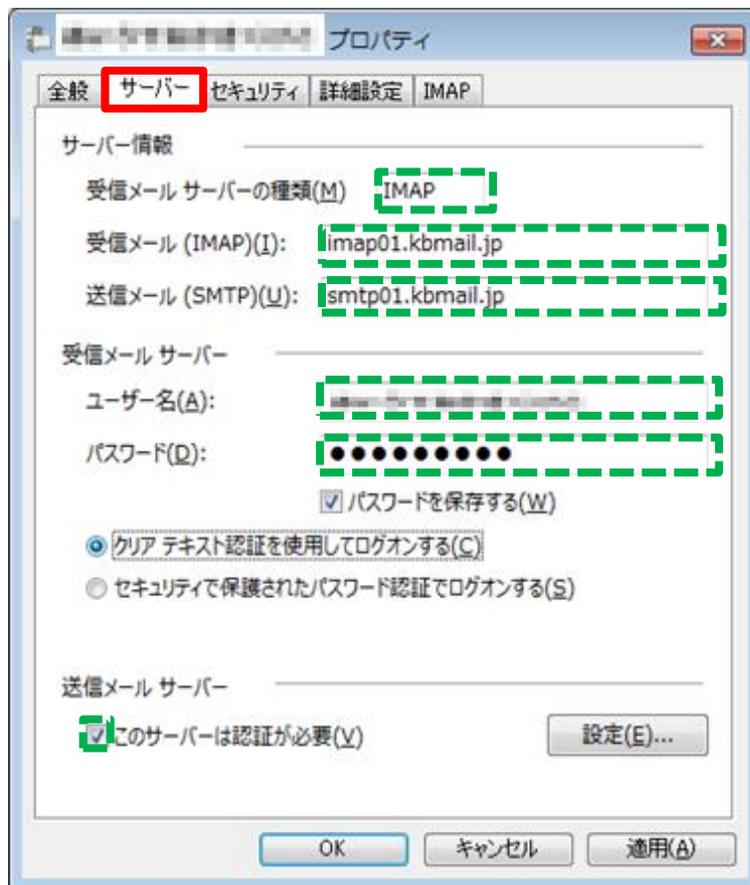
<全般タブ>



2) サーバータブの内容を確認・修正してください。

受信メールサーバーの種類	IMAP
受信メール (IMAP)	imap01.kbmail.jp または imap02.kbmail.jp ※「KDDI ビジネスメール」開通通知を参照ください。
送信メール (SMTP)	smtp01.kbmail.jp または smtp02.kbmail.jp ※「KDDI ビジネスメール」開通通知を参照ください。
ユーザー名	自分のメールアドレス
パスワード	「KDDI ビジネスメール」のログインパスワード
このサーバーは認証が必要	<input checked="" type="checkbox"/> チェックします。

<サーバータブ>

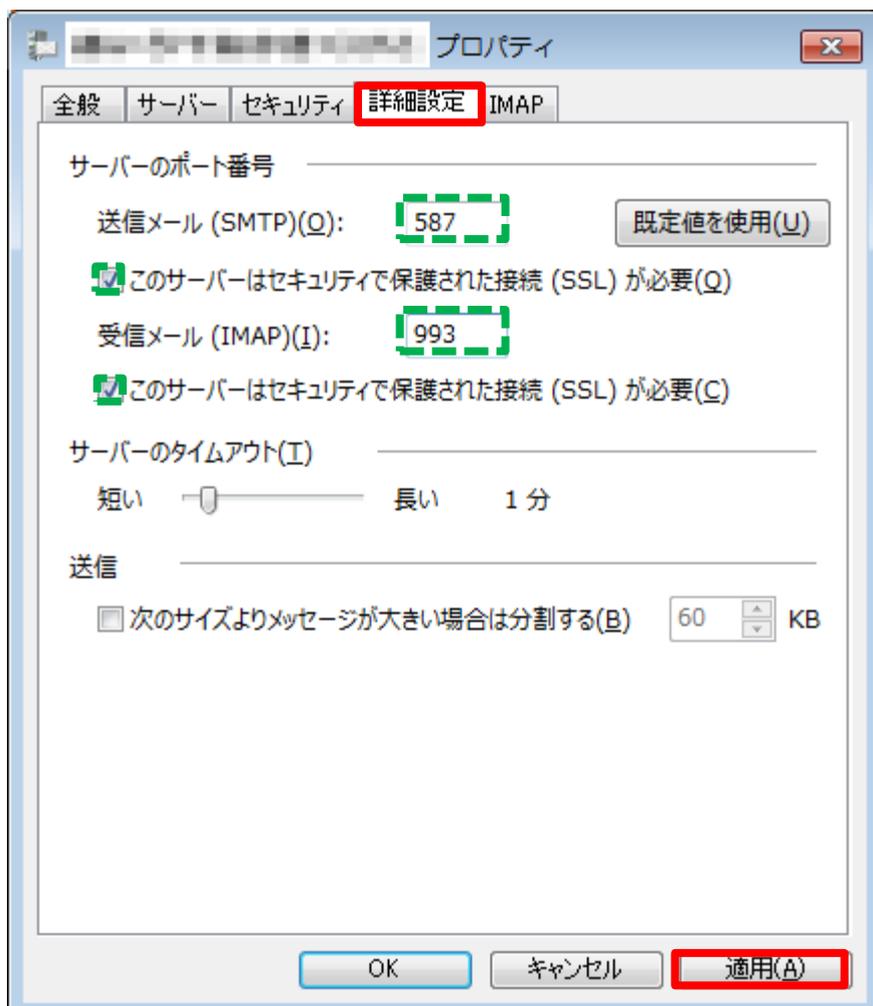


3) 詳細設定タブの内容を確認・修正してください。

すべて確認が完了したら[適用]をクリックします。

	インターネット接続時	「KDDI WVS」などのイン トラ接続時
送信メール (SMTP)	465	587
このサーバーはセキュリティで 保護された接続 (SSL) が必要	<input checked="" type="checkbox"/> チェックします。	<input type="checkbox"/> チェックを外します。
受信メール (IMAP)	993	993
このサーバーはセキュリティで 保護された接続 (SSL) が必要	<input checked="" type="checkbox"/> チェックします。	<input checked="" type="checkbox"/> チェックします。

<詳細設定タブ>



7. 「Office 365 with KDDI:Exchange Online」サーバへの接続設定

Windows Live メールを利用して「Office 365 with KDDI:Exchange Online」へ接続するための設定を行います。

- 1) Windows Liveメールのメニューより、[アカウント]-[電子メール]をクリックします。



2) 下記画面が表示されましたら、以下項目を入力し[次へ]をクリックします。

電子メールアドレス	自分のメールアドレス
パスワード	「Office 365 with KDDI:Exchange Online」 のログインパスワード
表示名	※入力任意
手動でサーバー設定を構成する	<input type="checkbox"/> チェックします。

※ 「Office 365 with KDDI:Exchange Online」用のログイン情報を入力ください。

Windows Live メール

自分の電子メール アカウントを追加する

Windows Live ID をお持ちの場合はここでサインインしてください。
[Windows Live にサインイン](#)

電子メール アドレス:

新しく Windows Live メール アドレスを作成する方は[こちら](#)

パスワード:

パスワードを保存する(B)

表示名:

手動でサーバー設定を構成する(C)

Windows Live メールではほとんどの電子メール アカウントをお使いになれます。たとえば
Hotmail
Gmail
などが利用可能です。

キャンセル

3) 「Office 365 with KDDI:Exchange Online」のサーバ接続情報を、下記の通りに入力し[次へ]をクリックします。

■受信サーバ情報：

サーバの種類	IMAP
サーバのアドレス	outlook.office365.com
サーバのポート	993
セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要	<input checked="" type="checkbox"/> チェックします。
次を使用して認証する	クリアテキスト
ログオンユーザー名	自分のメールアカウント

■送信サーバ情報：

サーバのアドレス	smtp.office365.com
サーバのポート	587
セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要	<input checked="" type="checkbox"/> チェックします。
認証が必要	<input checked="" type="checkbox"/> チェックします。

Windows Live メール

サーバー設定を構成

電子メール サーバーの設定がわからない場合は、ISP またはネットワーク管理者に連絡してください。

受信サーバ情報

サーバの種類: IMAP

サーバのアドレス: outlook.office365.com

ポート: 993

セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要 (R)

次を使用して認証する: クリア テキスト

ログオン ユーザー名:

送信サーバ情報

サーバのアドレス: smtp.office365.com

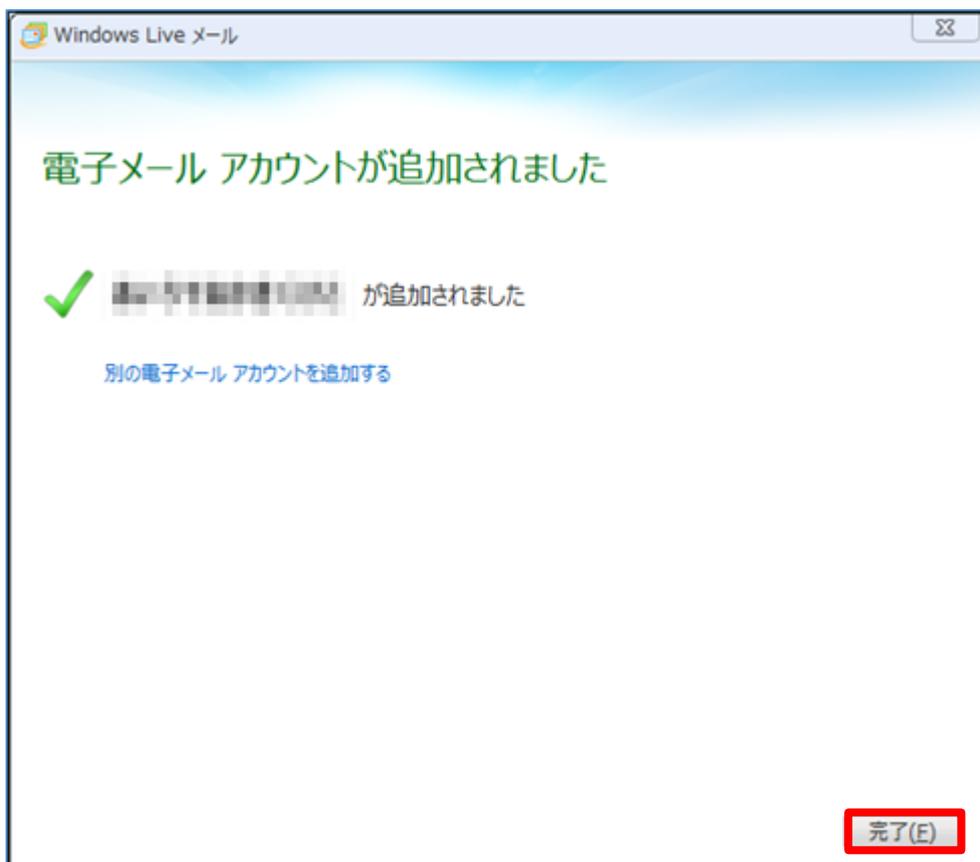
ポート: 587

セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要 (R)

認証が必要 (A)

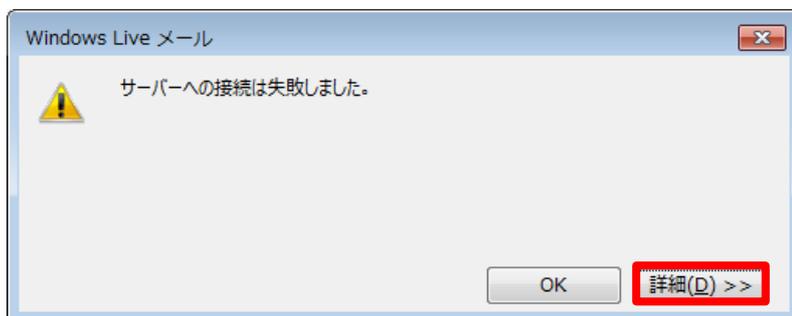
キャンセル 戻る 次へ

4) 以下の画面が表示されたら[完了]をクリックします。



<参考：接続エラーが表示された場合>

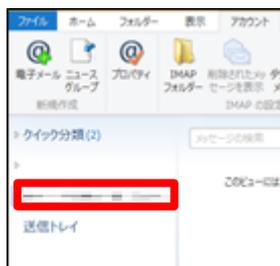
[詳細]をクリックしてエラー内容を確認し、サーバ接続情報に誤りがないか確認してください。



<接続情報の修正を行う>

Windows Live メール画面の左メニューにある、作成したメールアカウント（注）をクリック後、メニュー[アカウント]-[プロパティ]をクリックします。

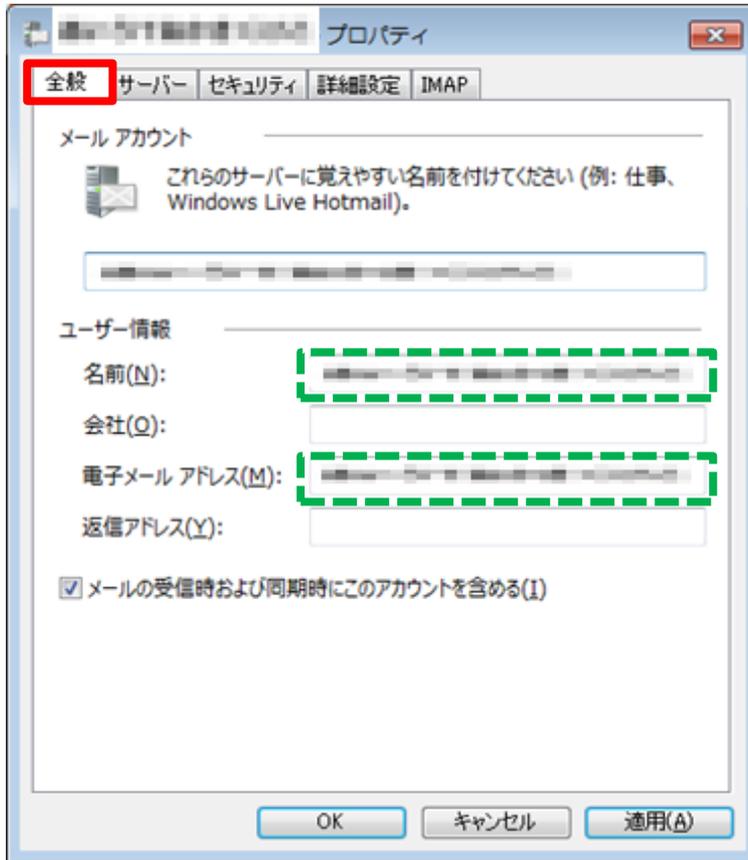
注) 「Office 365 with KDDI:Exchange Online」用に作成したメールアカウントは、先に作成した「KDDI ビジネスメール」用アカウントの下に表示されます。



1) 全般タブの内容を確認・修正してください。

名前	自分のメールアドレス or 表示名(入力した場合)
電子メールアドレス	自分のメールアドレス

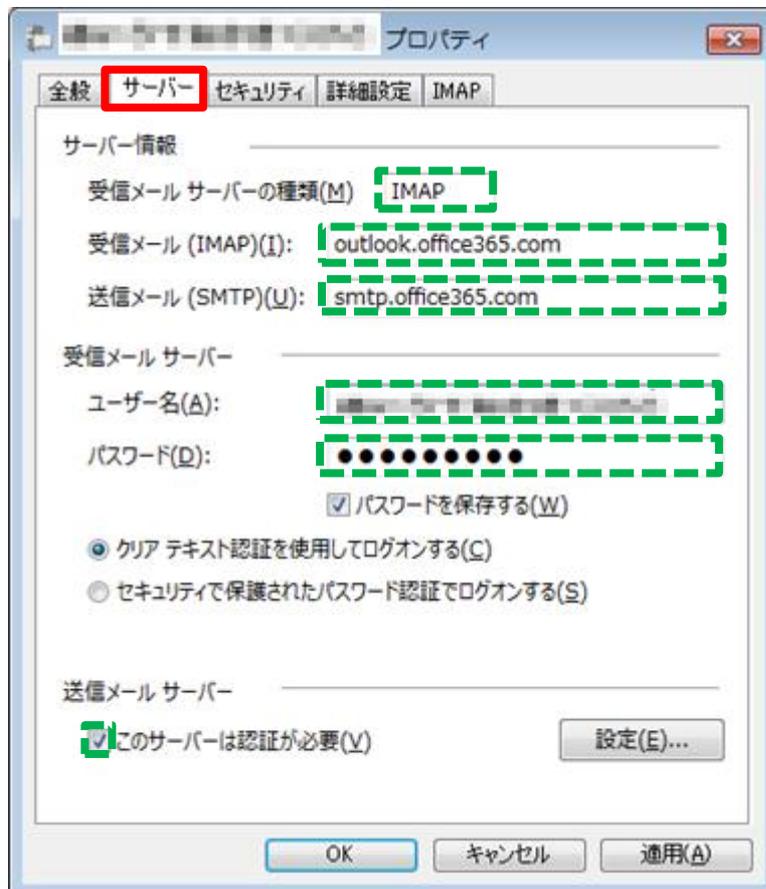
<全般タブ>



2) サーバータブの内容を確認・修正してください。

受信メールサーバーの種類	IMAP
受信メール (IMAP)	outlook.office365.com
送信メール (SMTP)	smtp.office365.com
ユーザー名	自分のメールアドレス
パスワード	「Office 365 with KDDI:Exchange Online」 のログインパスワード
このサーバーは認証が必要	<input checked="" type="checkbox"/> チェックします。

<サーバータブ>

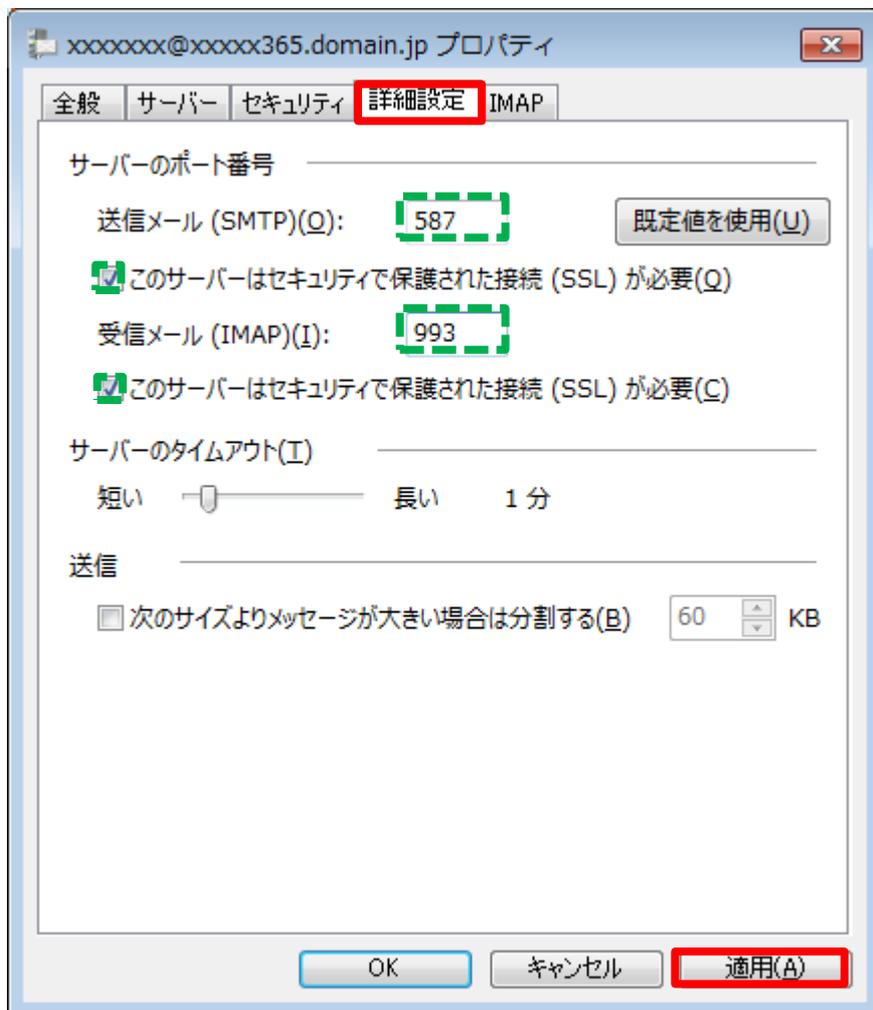


3) 詳細設定タブの内容を確認・修正してください。

すべて確認が完了したら[適用]をクリックします。

送信メール (SMTP)	587
このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要	<input checked="" type="checkbox"/> チェックします。
受信メール (IMAP)	993
このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要	<input checked="" type="checkbox"/> チェックします。

<詳細設定タブ>



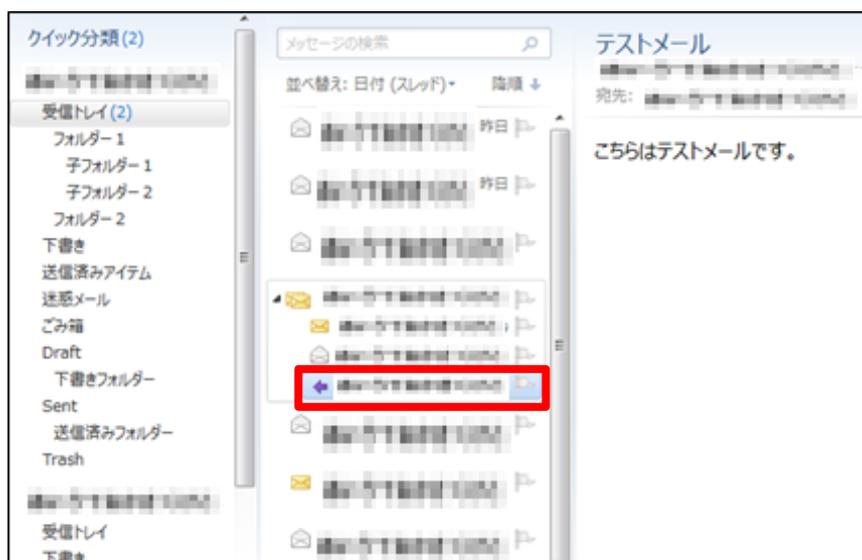
8. 「KDDI ビジネスメール」から「Office 365 with KDDI:Exchange Online」へデータを移行

「KDDI ビジネスメール」で受信しているメールを「Office 365 with KDDI:Exchange Online」のフォルダーへ移行します。

※移行するメールを都度選択するため、必要に応じて同じ作業を繰り返してください。

1) 1通のメールを移行する場合

1.1) 「KDDI ビジネスメール」用アカウントのメールを選択します。

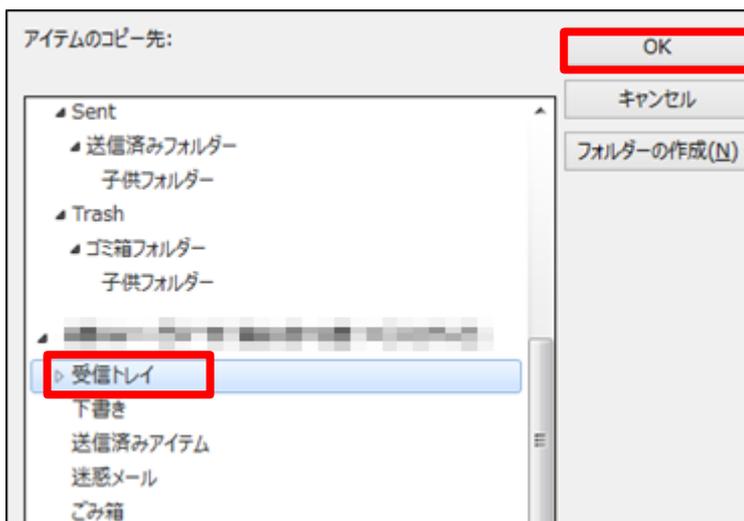
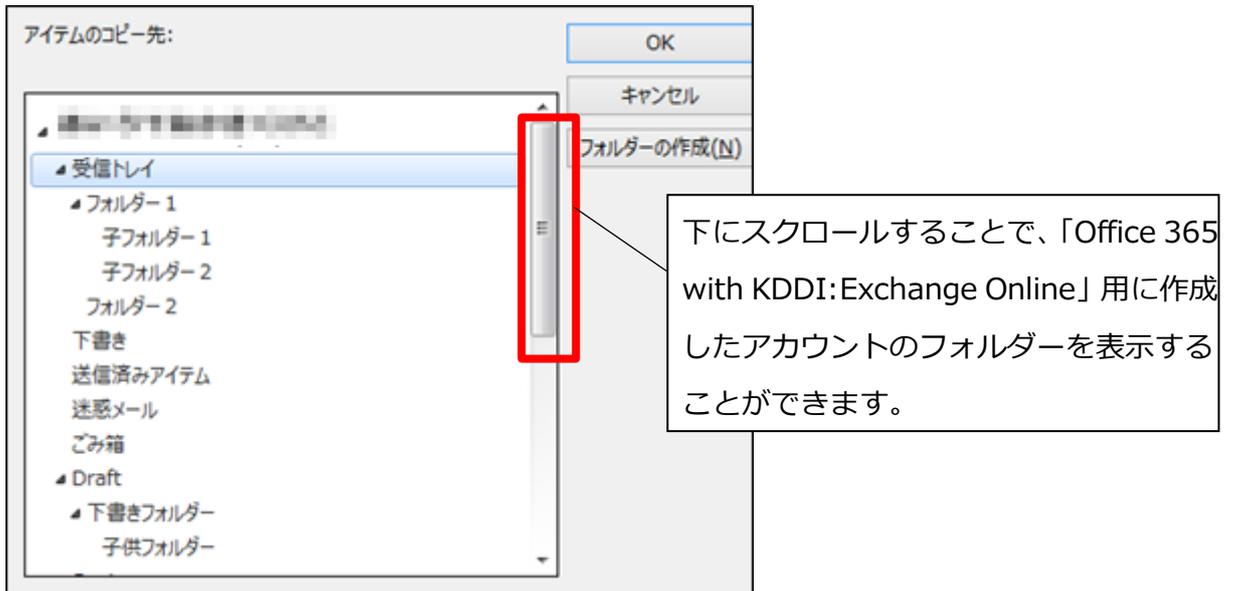


1.2) 右クリックでメニューを表示し、[フォルダーにコピー]を選択します。

※「KDDI ビジネスメール」にメールを残さない場合は、[フォルダーへ移動]を選択します。



1.3) フォルダの一覧が表示されるので、「Office 365 with KDDI:Exchange Online」用アカウントのフォルダを選択し、[OK]をクリックすると移行処理が実行されます。

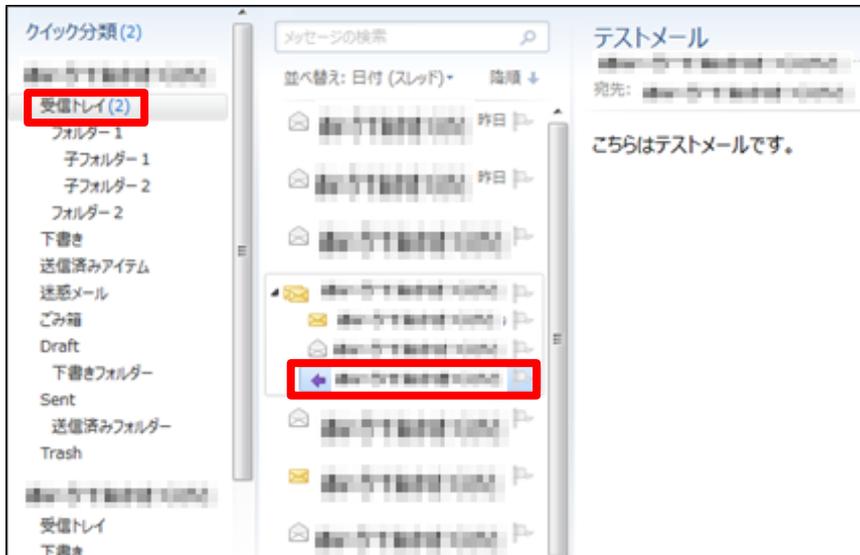


▷マークの表示の場合、該当フォルダの下に子フォルダが存在します。その際は、[▷]をクリックすることにより展開表示することも可能です。



2) フォルダ内のメールを一括で移行する場合

- 2.1) 「KDDI ビジネスメール」用アカウントのフォルダを選択後、表示されたメールのうち1つをクリックします。キーボードの「CTRL」キーを押したまま「A」を押し、フォルダ内のメールをすべて選択します。



- 2.2) 右クリックでメニューを表示し、[フォルダにコピー]を選択します。

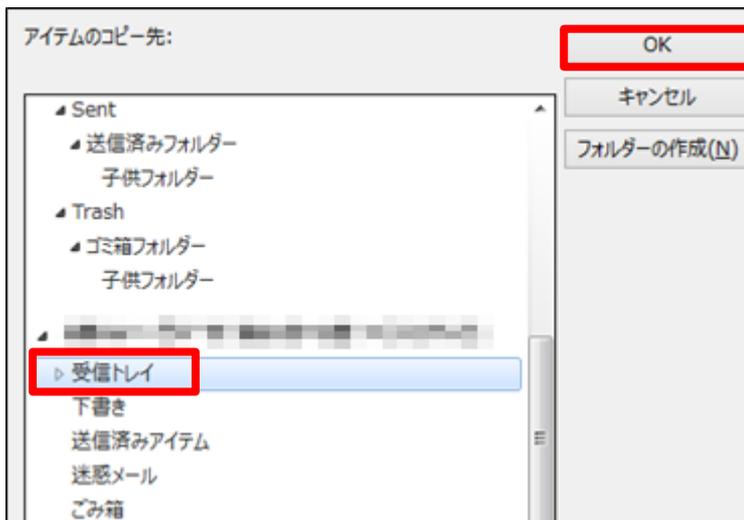
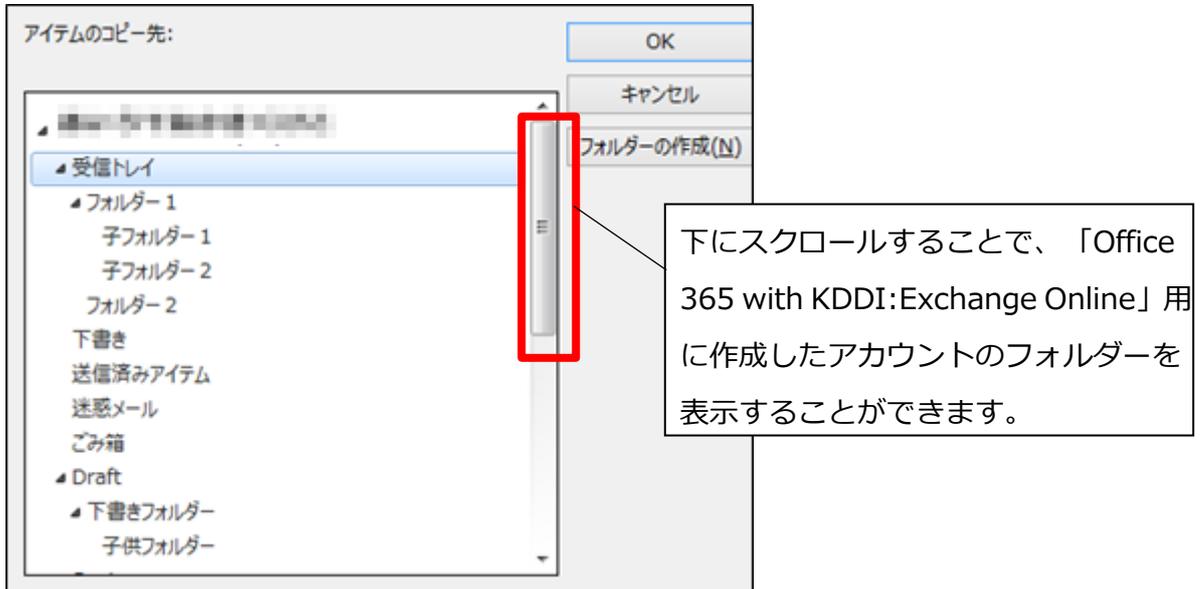
※「KDDI ビジネスメール」にメールを残さない場合は、[フォルダへ移動]を選択します。



※すべてのメールが選択されている状態で、メニューウィンドウが表示されていることを確認してください。

2.3) フォルダの一覧が表示されるので、「Office 365 with KDDI:Exchange Online」用アカウントのフォルダを選択し、[OK]をクリックすると移行処理が実行されます。

※メールデータの容量が大きい場合、完了まで時間がかかります。

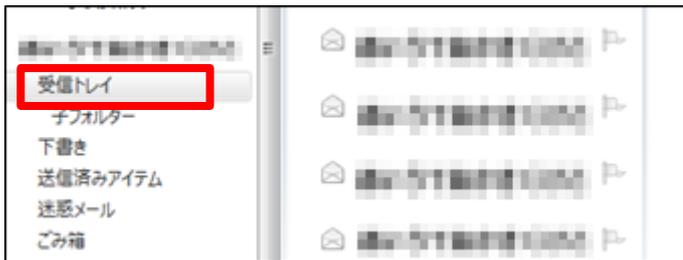


3) サブフォルダーを移行する場合

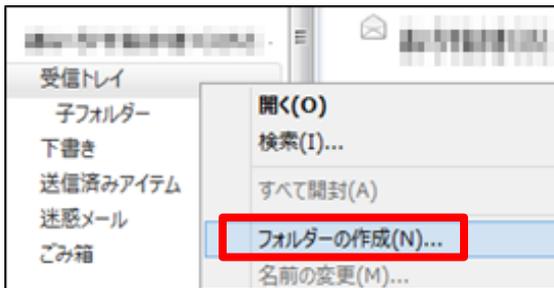
<注意>

移行先となる「Office 365 with KDDI:Exchange Online」用アカウントには、受信トレイ以外のフォルダがないため、以下の手順で事前に必要なフォルダを作成し、フォルダ内のメッセージを移行してください。

3.1) 「Office 365 with KDDI:Exchange Online」用アカウントのフォルダをクリックします。



3.2) 右クリックでメニューを表示し、[フォルダーの作成]を選択します。

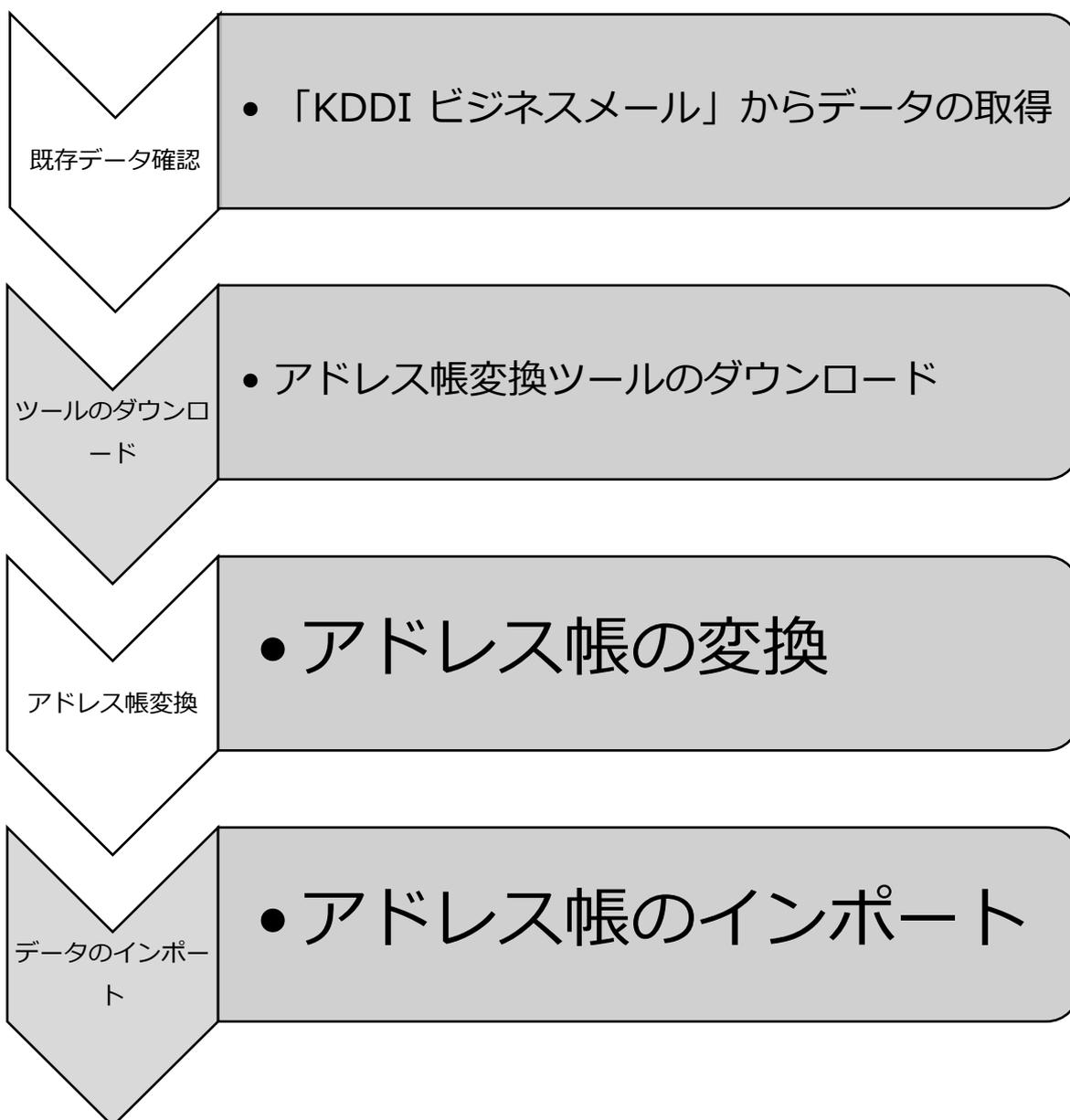


3.3) フォルダー作成ウィンドウが表示されたら、フォルダー名を入力し、[OK]をクリックします。

9. 個人アドレス帳の移行について

「KDDI ビジネスメール」の個人アドレス帳データをエクスポートし、「Office 365 with KDDI:Exchange Online」の個人アドレス帳にインポートします。

所要時間	1 時間程度
------	--------



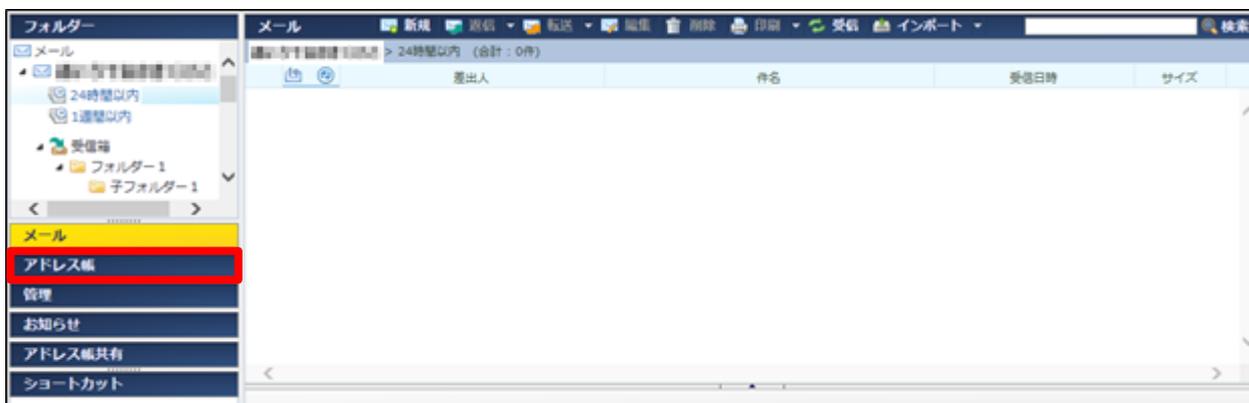
10. 「KDDI ビジネスメール」の個人アドレス帳をエクスポート

「KDDI ビジネスメール」の個人アドレス帳を移行するため、データのエクスポートを行います。

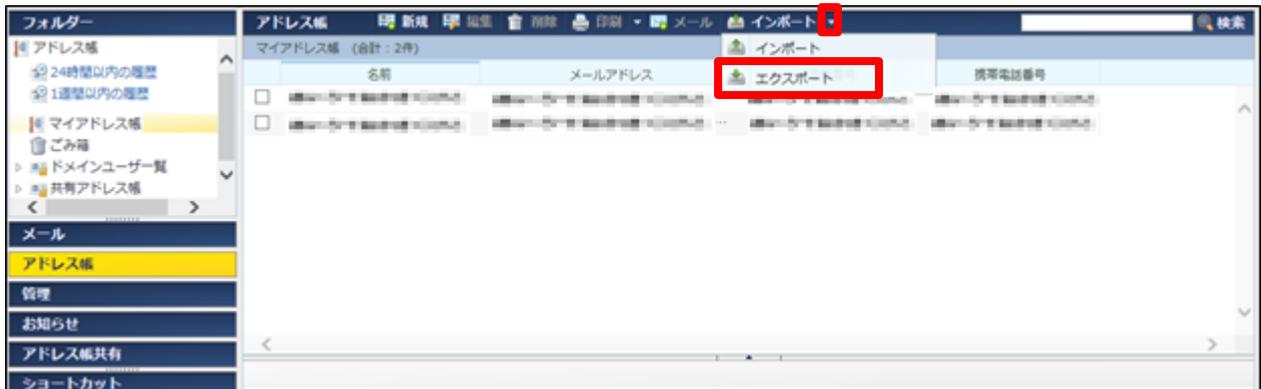
- 1) Internet Explorer にて「KDDI ビジネスメール」へアクセスし、アカウント(メールアドレス)およびパスワードを入力し[ログイン]をクリックします。



- 2) メールの画面が表示されたら、[アドレス帳]をクリックします。

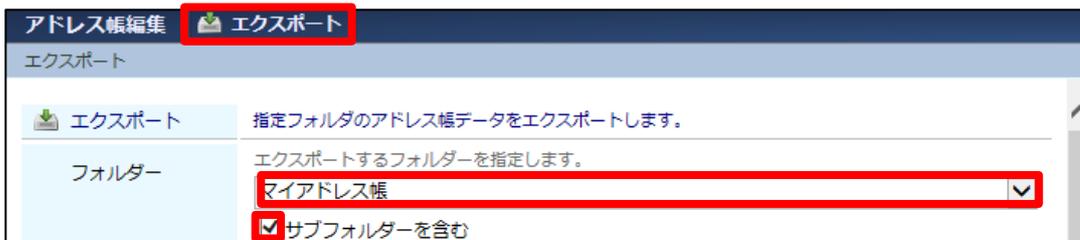


- 2) アドレス帳画面より[インポート]メニュー右の[▼]をクリックし、サブメニューより、[エクスポート]を選択します。



- 3) エクスポートするフォルダーを指定します。

サブフォルダーを含める場合は[サブフォルダーを含む]にチェックを入れ、[エクスポート]をクリックします。



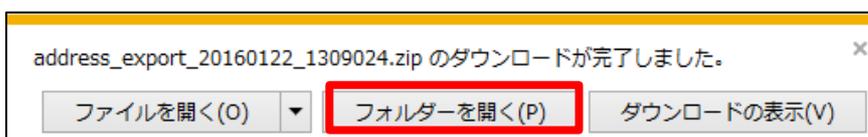
- 4) エクスポートが完了したら[ダウンロード]をクリックします。



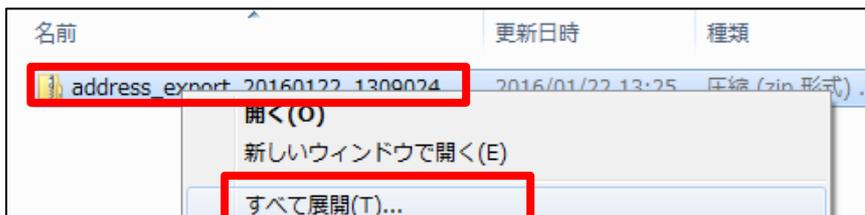
- 5) 以下の画面が表示されたら[保存]をクリックします。



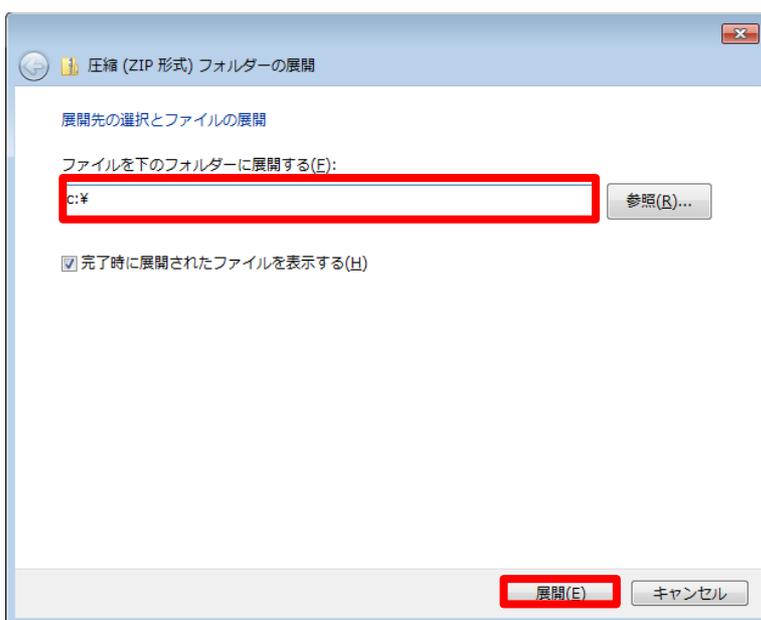
- 6) 次に[フォルダーを開く]をクリックします。



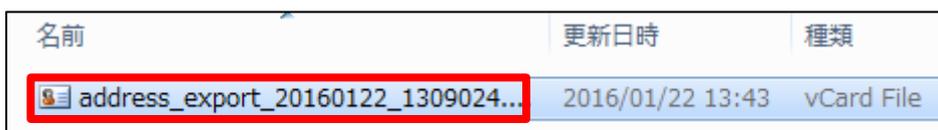
7) エクスプローラーが起動した後、エクスポートしたファイルを右クリックし、[すべて展開]を選択します。



8) ファイルの展開先を指定し、[展開]をクリックします。



9) 展開されたファイルが表示されます。



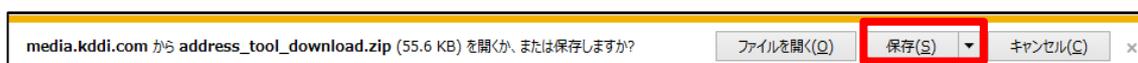
11. アドレス帳変換ツールのインストールおよび CSV 形式への変換

エクスポートした「KDDI ビジネスメール」の個人アドレス帳データを、アドレス帳変換ツールにより CSV 形式のデータへ変換を行います。

- 1) Internet Explorer にて下記 URL へアクセスし、以下の画面が表示されたら[保存]をクリックします。

<URL:

http://media.kddi.com/extlib/download/support/mobile/guide/smartphone/is12t/address_tool_download.zip>



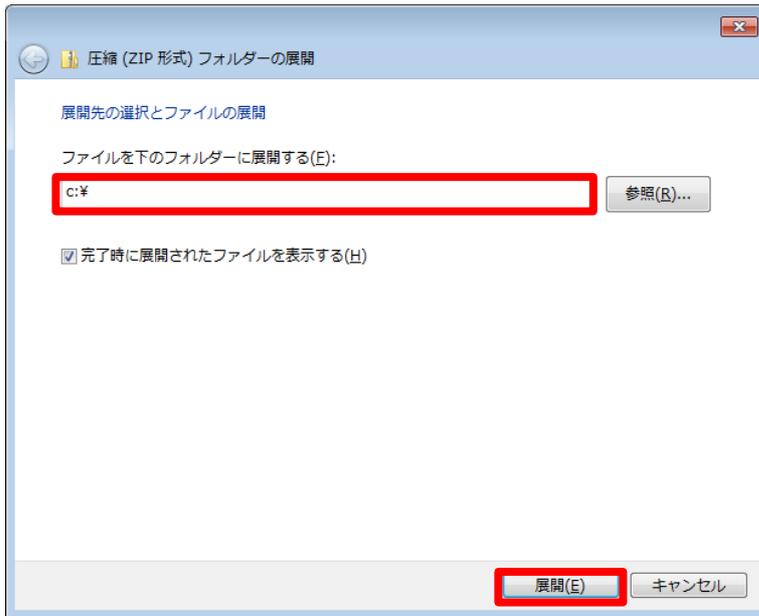
- 2) 以下の画面が表示されたら[フォルダーを開く]をクリックします。



- 3) エクスプローラーが起動した後、[address_tool_download.zip]を右クリックし、[すべて展開]を選択します。



4) ファイルの展開先を指定し、[展開]をクリックします。



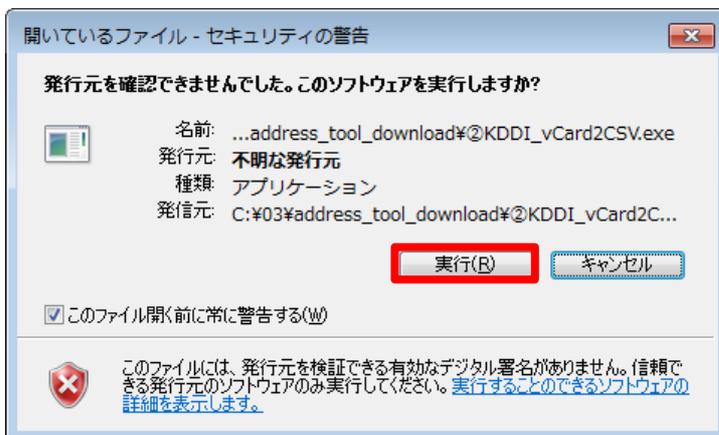
5) 展開された[address_tool_download]フォルダーをダブルクリックします。

名前	更新日時	種類	サイズ
address_tool_download	2016/01/22 10:33	ファイル フォル...	

6) [②KDDI_vCard2CSV]をダブルクリックし、アドレス帳変換ツールを起動します。

名前	更新日時	種類	サイズ
②KDDI_vCard2CSV.exe	2016/01/22 10:33	アプリケーション	143 KB

7) 以下の画面が表示されたら[実行]をクリックします。



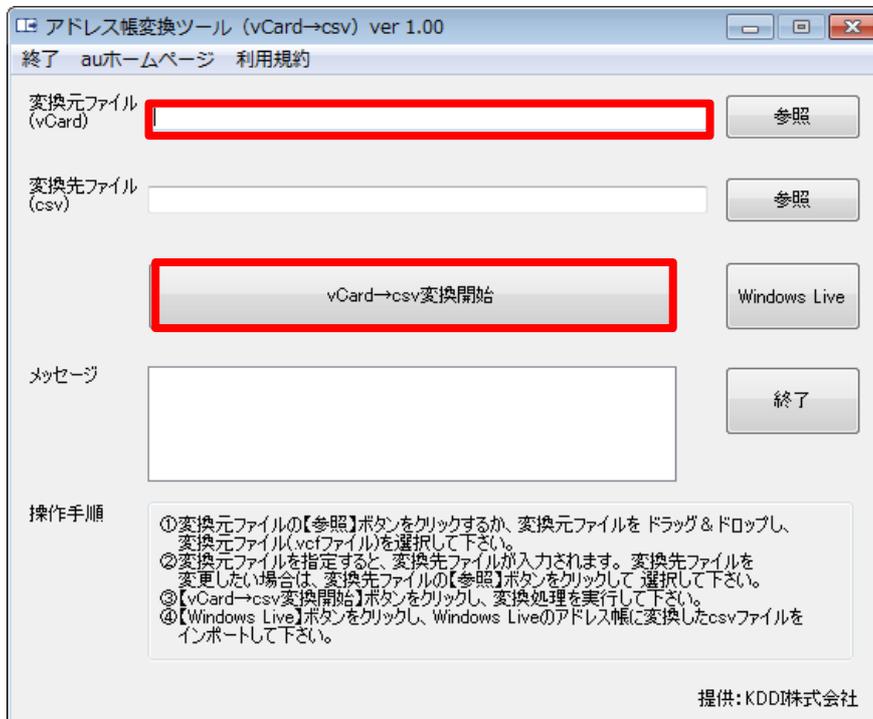
8) アドレス帳変換ツールが起動します。

[利用規約を確認する]をクリックすると規約が表示されますので、内容をご確認の上、[利用規約に同意の上利用する]をクリックします。

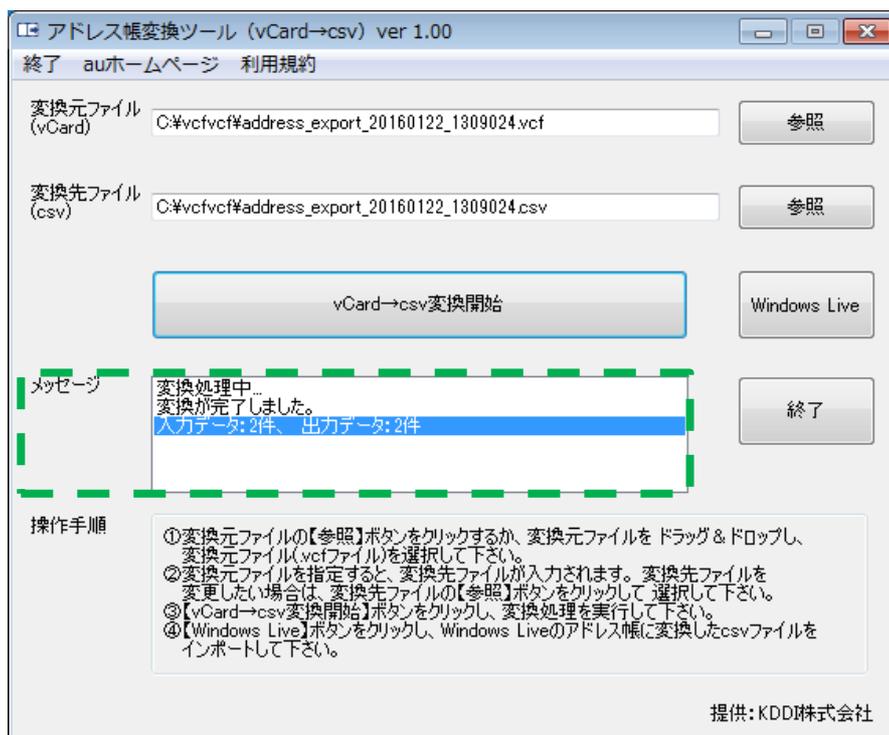


9) アドレス帳変換ツールの画面が表示されます。

変換元ファイルに 10 項でダウンロードしたファイルを指定し、[vCard⇒csv 変換開始]をクリックします。



- 1 0) 変換処理が実行されると、[メッセージ]に実行結果が表示され、変換元ファイルと同じフォルダーへ、CSV 形式に変換されたファイルが保存されます。

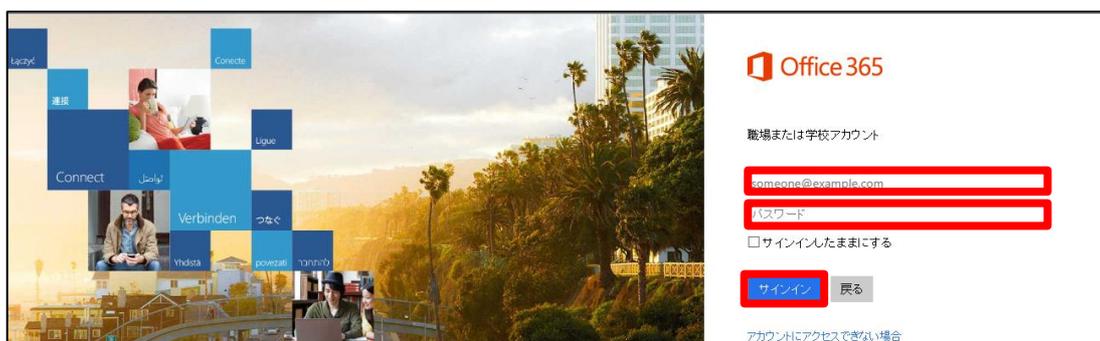


12. 「Office 365 with KDDI:Exchange Online」へ個人アドレス帳データをインポート

CSV形式へ変換した「KDDI ビジネスメール」の個人アドレス帳データを「Office 365 with KDDI:Exchange Online」へインポートします。

- 1) Internet Explorerにて以下URLへアクセスし、以下の画面が表示されたら「Office 365 with KDDI:Exchange Online」のログインユーザーアカウント(メールアドレス)とパスワードを入力し、[サインイン]をクリックします。

<URL:https://portal.office365.com>



- 2) 左上の[□]アイコンをクリックします。



- 3) [連絡先]アイコンをクリックします。



以下の画面が表示された場合には、言語とタイムゾーンを選択します。

言語	日本語（日本）
タイムゾーン	

保存を[クリック]し、再度[連絡先]をクリックします。



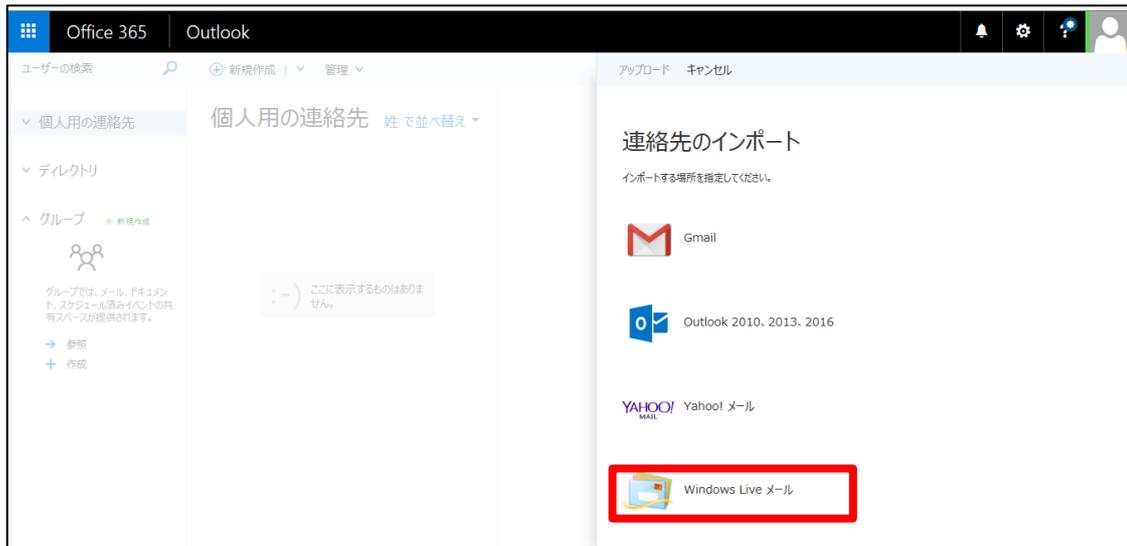
4) 連絡先の画面が表示されたら、[管理]メニューをクリックします。



5) サブメニューが表示されたら[連絡先のインポート]を選択します。



6) [Windows Live メール]をクリックします。



7) 1 1 項で CSV 形式に変換したファイルを指定し、[アップロード]をクリックします。



8) アドレス帳のインポートが実行され、その結果が表示されます。

処理結果を確認後、[個人用の連絡先]をクリックします。



9) 個人用の連絡先に、インポートしたデータが反映されていることを確認してください。

